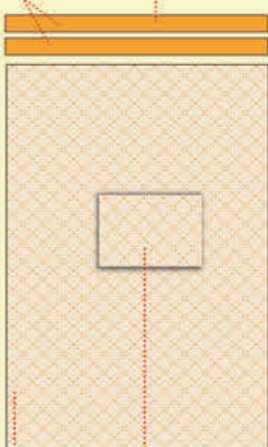




材 料

46cm×2本 ベルト25mm



キルト生地(ポケット) 15cm×22cm…1枚
※ボーダー柄の場合はイラストがかくれてしまうので付けません。
キルト生地(本体) 68cm×45cm…1枚

1 生地 の 端 を 始 末 し ま す ミシン針14号

バッグ本体とポケットのまわりにジグザグ縫いをします。ジグザグ縫いの振り幅は4~5mmにします。そのあと、★の箇所大きい針目のミシンをかけます。

ポイント!

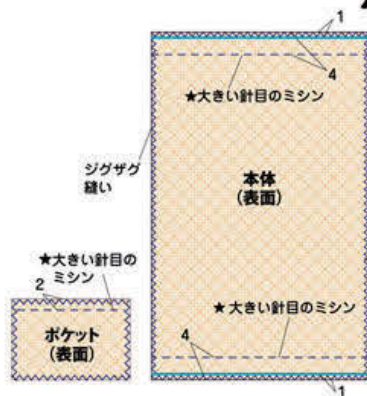


「ジグザグ縫い」とは?

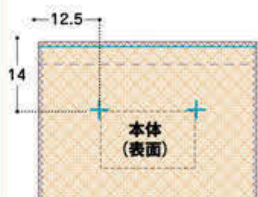
生地を裁ったままでは、端がほつれてしまいます。それを防ぐために生地の端をミシンでジグザグ縫いします。(布耳にはジグザグ縫いは必要ありません)



ジグザグ縫いは、針が右に振れたときに布端にくるようにセットしてミシンをかけます。



2 本体のポケット位置にしるしを付けます



ポケット付け位置にしるしを付けます。水性チャコペンを使えば「消しペン」や水で消せるので、表から描いても安心です。

ポイント!



「大きい針目のミシン」とは?

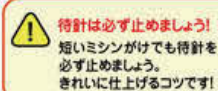
布端の始末ができたから、あらかじめ折り返す箇所大きい針目で直線縫いのミシンをかけます。こうすると、厚手の生地もきれいに折れます。



始末が終わりました。見えやすいようにミシン糸の色を変えています。

3 ポケットを本体に待針止めます

ポケットのぬいしろを折り、2で付けたしるしに合わせてポケットを置いて待針で止めます。



待針は必ず止めましょう! 短いミシンをかけても待針を必ず止めましょう。きれいに仕上げるコツです!

1. ポケット口を2つ折りにしてミシンをかけます。



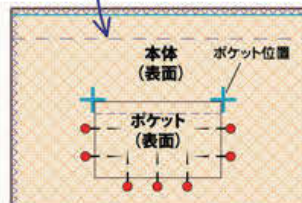
2. ★の3辺に大きい針目のミシンをかけます。

3. 大きい針目のミシン線に沿って3辺を折り、本体のポケット位置に待針で止めます。



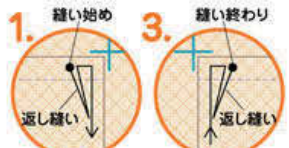
待針を止めたままミシンをかけてもいいの?

待針を止めたままミシンをかけると、ミシン針が折れたり待針が曲がったりします。ミシンに慣れないうちは、スピードをゆるめて待針を取りながら縫いましょう。



4 ポケットを縫い付けます

ミシン針14号



縫い始めと縫い終わり

ミシンでポケットを縫い付けるとき、口の端を丸のように三角形に返し縫いすると丈夫に仕上がります。

2.角を縫うとき

① ミシン針が角に来たら、ミシン針を刺した状態で押さえがねを上げて本体全体を直角に回します。



② 押さえがねを下げて、続きを縫うとききれいな直角に縫えます。



ポイント!



「返し縫い」とは?

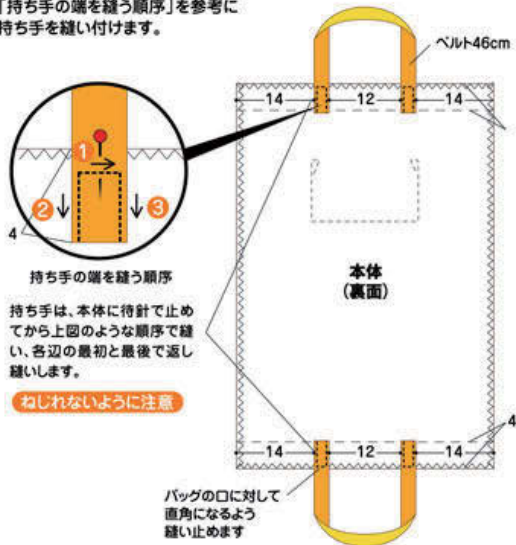
縫い始めと縫い終わりで少し戻って縫うことを言います。同じ箇所を重ねて縫うので丈夫になり、ほつれにくくなります。



5 持ち手を縫い付けます

ミシン針14号

「持ち手の端を縫う順序」を参考に持ち手を縫い付けます。



持ち手の端を縫う順序

持ち手は、本体に待針で止めてから上回のような順序で縫い、各辺の最初と最後に返し縫いします。

ねじれないように注意

バッグの口に対して直角になるよう縫い止めます

6 端を縫い合わせ袋に仕立てます

ミシン針14号

本体を中表(表面を内側)にして半分に折り、両端を縫い合わせます。縫い始めと縫い終わりは返し縫いをします。



ポイント!



厚手の生地を縫い合わせるポイント

キルティングなどの厚手の生地をミシンで縫い合わせる場合、目打で生地を送りながらミシンをかけるときれいに縫えます。慣れると簡単!



7 袋口を折り返し、持ち手を立ち上げます

1. ぬいしろを割り、バッグの口を大きい針目のミシン線で折り返します。
2. 持ち手を口の側に立ち上げます。



8 バッグの口を縫い、表返して角を整えます

ミシン針16号

持ち手を待針で止めておきます



ありがとう



できあがり!

